

協議会委員参加者

- 角 朋子 (令和3年度PTA会長)
- 田中 恒子 (地域教育相談員)
- 原田 尚史 (和泉市立和泉中学校長)
- 山野 正広 (和泉市総務部人権・男女参画室長) 運営協議会副会長
- 西田 芳正 (大阪府立大学教授)

学校教職員参加者

- 大崎 弘司 (校長)
- 北出 眞理 (教頭)
- 津田 等 (事務長)
- 細川 太郎 (首席)
- 小川 敏和 (首席)

その他参加者

- 白木原 舜 (生徒指導部長)

- (1) 校長挨拶
- (2) 委員・校内事務局紹介 会長・副会長 選出 (会長：角 副会長：山野)
- (3) 生徒状況報告① 生徒指導部 (白木原教諭)
- (4) 令和3年度使用教科書について
- (5) 校内授業見学
 - ・1年 社会と情報
 - ・2年 総合的な探求の時間 (GSⅡ)
 - ・3年 人体生理学
- (6) 生徒状況報告② 進路指導部 (小川首席)
- (7) 令和3年度学校経営計画
- (8) 意見交換
- (9) 校長謝辞

[主な質問、意見等] ○は質問、 →は答え、 ●は意見や感想

生徒指導関係

○欠席・遅刻の多い生徒へのフォローはどうしているか？

→担任や副担任等から家庭へ電話連絡をしている。仕事等で連絡がつきにくい家庭も増えてきている。

○コロナによる休校が生徒指導へ影響を及ぼしていることはあるか。

→直接的な影響は少ないと思われる。昨年度の入学生は、4月当初の休校で入学直後の指導（高校生としての心構えや学習についてなど）が例年より遅くなったが、これによる影響は特に感じていない

○夏服を着ている生徒がほとんどいないように感じるが何か理由があるのか。

→夏服は希望購入なので全員が持っているわけではないがそれを差し引いても着用率は低い。男女とも、リボンやネクタイをつけたいようで、そのために長袖シャツを着用している。女子はグレーのシャツに汗染みができるのを嫌がり夏でもセーターを着ている生徒がいる。できれば積極的に夏服も着てもらいたい。

進路指導関係

○医療系の進路を選択している生徒が多いのは何か理由があるのか。

→詳細は分からないが、家族に医療関係者がいたり幼少期のあこがれがあったりしているようである。

○総合学科の授業と進路指導の関係はどのようになっているのか。

→1年生の秋ごろから科目選択が本格化する。それまでに、自分の希望進路について考えたり、選択科目に関するガイダンスを行ったりするなど、進路指導と科目選択は入学時より連動して行われている。

○専門学校合格後、入学を辞退している生徒がいるが、その後どのような進路を選んだのか。

→就職したり、留学や自己実現のためのアルバイトをしたりしている。

○進路未定のまま卒業する生徒はいるのか。

→ほとんどいない。

その他

○通信制や単位制などの学校への転学について、特徴的なことはあるか。

→近年は通信制や単位制の学校も増えてきている。本校からの転学者も多岐にわたっている。学費や就学支援金との兼ね合いもあるが、進路変更の選択肢が増えてきている。

●中学生のなかでも、通信制への入学を希望している生徒が増えてきているように感じている。

○進路変更をした生徒のうち、コロナ禍による経済状況の変化が理由の生徒はいるか。

→昨年度はいない。

○部活動の加入率が低いのは何か理由があるのか。中学校でも低下してきていることが課題となっている。

→近年はどの学校でも部活動加入率が低下傾向にあるよう。本校では、加入率は低いものの、恒常的に参加する生徒は増えてきている実感がある。グラウンドや体育館など、放課後は賑やかになってきている。一方で、学校の部活には参加せず、学外でダンスなどの習い事をしている生徒も多くなっている。